

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	001 -	事業名	政策事務事業			担当部課	市長公室総合政策課			
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計 区分	一般会計						
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～		予算区分(款 - 項 - 目)						
	第6次総合計画・基本目標	✓ 市民から信頼される市政の運営	2-1-5 企画費							
	法定受託事務の有無	—								
	その他(関係計画、要綱等)	—								
事業開始の背景、経緯等	本市では、新しいまちのかたちとして、一人ひとりに役割と居場所があり、市民主体で実現する幸せが実感できるまちをめざしており、その目標に向かう道しるべとして取組内容をまとめた「新しいまちづくり行程表」に基づき、事業の進捗確認を行う。(第2次行程表は、平成28年度～平成31年度)									
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 「新しいまちづくり行程表」に掲載された事業の半期ごとの進捗を確認することで、計画的な行政運営の推進を図る。								
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 取組実施担当課								
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・計画的な行政運営の推進を図る。 ・3つの基本理念(フラッグ)を大切に、取組ごとの連携を図る。								
	事業を構成する事務事業(B票)	① 政策事務事業	改善・見直し	④						
	②			⑤						
	③			⑥						
コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)		
	事業費(A)	千円	予算	6,622	2,442	1,231	1,043	364		
			決算	9,773	1,191	317	261			
	人件費(B)	千円	決算	-	16,422	13,290	12,717			
総コスト(A)+(B)	千円	決算	-	17,613	13,607	12,978				
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)		
	A 年次計画通り取組が開始された事業の割合	%	目標		47.4	77.6	96.6	100		
			実績		49.1	70.7	82.8			
	B		目標							
			実績							
	C		目標							
実績										
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) A 事業が実施(着手)されることが、施策推進上重要であるため。 B C										
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) -								
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 概ね、行程表に基づき、事業の実施が行われている。								
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 概ねの事業は当初の予定通り実施されているが、実施困難な事業への対応策の検討が十分にされていない。								
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 行程表に掲載している事業のうち、ニーズや社会情勢が変化により実施が困難である事業に対する見直しの手法が明確となっていない。								
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 年度途中に行程表に掲載されている事業の取組実施担当課と事業実施に向けての情報共有を図る。								
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) (行程表)目標年度であるH31年度までにすべての事業を実施(着手)又は完了とする。								

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次総合計画と連携を図り、引き続き事業を進めてください。
------	-------------------------	--------------------------------

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

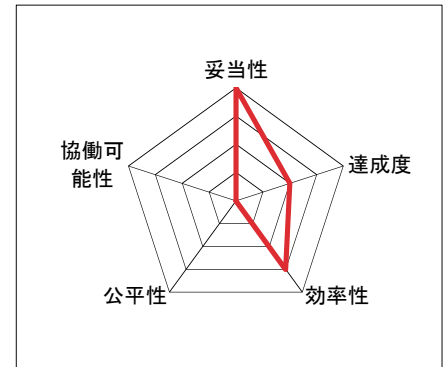
事業(A票)名	政策事務事業		担当部課	市長公室総合政策課	決算書ページ	—
事務事業名	①	政策事務事業	予算区分	2-1-5 企画費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	—	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 行程表に掲載されている事業の取組実施担当課を対象に、半期ごとに各取組の進捗状況を確認し、管理を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・ 計画的な行政運営の推進を図る。 ・ 3つの基本理念（フラッグ）を大切に、取組ごとの連携を図る。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	2
効率性	3
公平性	—
協働可能性	—



2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算	6,622 9,773	2,442 1,191	1,231 317	1,043 261	364
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1)		講師料					60 千円
(2)		消耗品費					57 千円
(3)		アドバイザー報酬金					54 千円

【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
—				

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
年次計画通り取組が開始された事業の割合	%	見込 実績		47 49	78 71	97 83	100
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
・ 半期毎の進捗状況の確認。HP上で公表。							

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
・ 行程表に掲載している事業のうち、ニーズや社会情勢の変化により実施が困難である事業に対する見直しの手法が明確となっていない。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
—

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
第6次総合計画のアクションプランとの連携を図る。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
1,043 千円	364 千円	△ 679 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・ 前年度【今後の方向性】	現状維持	
・ 前年度【コメント】	第6次総合計画のアクションプランとの連携を図る。	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
行程表最終年度が、第6次総合計画のアクションプランの開始年度と重なるため、連携を図りました。		

7. 今後の方向性

改善・見直し